

輝くゲーマーにフォーカスするeスポーツマガジン

GAMESTAR

Vol. **23**
APR. 2019

FREE

CAG COD 部門
ファンミーティング in NAMBA

ヴァっさんとマルちゃんの
ハースストーン 食事会®

国内最大級のeスポーツグッズショップ
Sofmap GAMING ZONE
なんば店

日本の競技シーンを支え続ける韓国人プロゲーマー

Tussle

Unsold Stuff Gaming

[PR]



は、仲間を探しています。

経験者未経験者問わず、これから世界を変えられるサービスを作りたい仲間をエイプリルナイツは探しています。とにかく面白いことをカタチにしたい方は弊社担当者までご連絡をお待ちしております！

WEBサービス
企画運営

システム制作
支援事業

e-Sports
関連事業

【お問い合わせ先】採用/広報 担当者宛
recruit@april-knights.jp



APRIL KNIGHTSは、e-Sportsの社会人リーグAfter 5 Gaming Vol.3にて2連覇を達成しました！上の写真は活動の写真です。

[PR]

MN MULTI CORE NEWS

「マルチコア・ニュース」はハードウェア、ゲームそれらを取り巻くクリエイターやエンジニアを取り扱ったり扱わなかったりするオモシロ系メディアです。

コンセプトは「**むずかしいを、かんたんに。**」



そんな「マルチコア・ニュース」では現在、記事執筆をして頂けるライター様を募集しています。〇〇やってみた系、デバイス、ガジェット、ゲームなどのレビュー系、何でも構いません。「記事書けるよ!」という方は是非ともご応募ください!

【MCN】

【問い合わせ】

【ライター応募】

【Twitter】

【Facebook】



@MCNJapan

MCNmaster

GAME STAR

輝くゲーマーにフォーカスするeスポーツマガジン

Vol. **23**
APR.2019

Contents

P4 日本の競技シーンを支え続ける韓国人プロゲーマー

Tussle

Unsold Stuff Gaming



Cover
Tussle (UNSOLD STUFF GAMING)
Cover Photo
Junpei Ishikawa

P12 国内最大級のeスポーツグッズショップ
Sofmap GAMING ZONE なんば店

P13 CYCLOPS athlete gaming
コールオブデューティー部門
ファンミーティング in NAMBA

P14 ヴァアさんとまるちゃんのハースストーン食事会⑧



編集記

グムスタを手にとって頂きまして、ありがとうございます。

今回は League of Legends Japan League で活躍中の Unsold Stuff Gaming 所属 Tussle 選手へのインタビューを行いました。Tussle 選手の現在とこれまで、これからをつまびらかにしております。ぜひ御覧ください。

ついに平成の次の元号「令和」が発表されました。令和はどのような時代になっていくのでしょうか。平成より更によくなることを祈っております。引き続き、グムスタをよろしくお願ひします。

Editor in Chief
Masumi "みずいろ" Fukuda

Staff
Axl, Haruuda,
スインヤン, nacchicchi

Design
ELEFANT Inc.

Special Thanks
株式会社ゲート
株式会社エイプリルナイツ

発行
GANYMEDE 株式会社



WWW.GAMESTAR.TOKYO

※本誌掲載の写真、記事の無断転載および複写を禁じます。

なっちっち
nacchicchi



Interview Tussle

日本の競技シーンを支え続ける 韓国人プロゲーマー-Tussle

皆さんはご存知だろうか。日本のチームに所属する韓国人プロゲーマーが、一定数存在していることを——。eスポーツタイトルとして世界的に人気を博している『League of Legends (以下LoL)』のプロシーンでは、ルール上1チームに2名まで外国籍選手を入れることが可能だ。

そのため日本のプロチームでは、実力が高く文化的にも近い韓国人選手を好む傾向にある。

その先駆者のなかで唯一、今でも日本で活躍し続けているプレイヤーがTussle選手だ。

日本在住歴4年目を迎えた彼の歩みと、心の奥底に持ち続ける思いを探ってみたい。

Photo / Junpei Ishikawa Text / Hiromi Mizunaga (shuiniao)

既婚者プロゲーマー Tussle 選手の 生活スタイル

——プロゲーマーというと大会に出ているイメージが先行して、大会以外の日はどう過ごしているのかわからない人もいるかと思いますが、まずは、1日の生活サイクルから簡単に紹介してもらえますか。

日本の『LoL』のプロチームは、どこもゲーミングハウスで共同生活をしています。1日のサイクルはチームによって違いますが、僕ら Unsold Stuff Gaming (以下USG) の場合14時までに起床しなければなりません。そこから個人練習を1時間ほどしたあと、18時ごろまで練習試合をします。その後夕食をとって、20時ごろから再び練習試合が始まります。うちのチームはフィードバックの時間が長いので、終わるのは夜中の0時ごろですね。その後は自由時間なのですが、僕の場合、実力に不満があるときは練習試合のリプレイやプロチームの試合動画を見たり、プロ選手のソロランクを観戦したりします。自分の実力に満足しているときは、他のゲームをします! 『CS:GO』とか『鉄拳』とか。ストレスがたまったりときも、ストレス解消のためにわざと他のゲームをしますね。

——仕事としてやっているゲームでたまったストレスを、他のゲームで解消するっていうのは面白いですね。だけど、Tussle選手は結婚してますよね。奥さんやお子さんと過ごす時間はないんですか。

土曜日の大会が終わってから、家に帰ります。早くても22時、遅くなると夜中の1時を回ってしまいますね。日曜日は妻と子供と過ごしますが、翌朝9時には家を出て昼の12時にはゲーミングハウスに戻ります。そこから僕は、休んでいた間の海外大会の動画を見始めるんです。韓国リーグはもちろん、その他5つの主要地域のリーグのハイライトも全部見えています。なぜなら海外リーグは地域ごとに特色があって、そこから良いアイデアを見つけることができるからです。

——いわゆる「週末婚」ですね。今の生活には満足していますか。

僕は満足しています。でも、家族に寂しい思いをさせてしまっているのが問題ですね。最初のころは妻とケンカもし

ましたよ。「普段家にいないんだから、私がどれだけ大変だかわからないでしょう?」って言われて。ちょうどUSGに移籍したばかりの時期と重なって、チームが上手くないときは家族に甘えたい気持ちになるんですけど、それができない。「日本にひとり捨てられた気分だ」、と妻にこぼしたこともありましたが、たまに「寂しい」とは言われますね。僕はチームメイトたちが側にいるけど、妻はそういう環境



にない子供もまだ喋れないので(笑)。だけど、プロゲーマーとしての僕をすごく応援してくれています。試合に負けたときはふたりして落ち込んでしまうこともありますが、それだけ一生懸命応援してくれている証拠だと思うので、やっぱりありがたいですね。

ゲーム大好き少年がプロへの道を選ぶまで

——ここからは、韓国でのことを少し振り返ってもらいたいと思います。まず、Tussle選手が最初に触れたゲームって何だったんですか。

小学4年生のころに始めた『メイプルストーリー』が最初です。とにかくゲームが好きで、ありとあらゆるゲームを触りました。そして、中学生になって初めて競技性のあるゲーム『サドンアタック』を始めました。当時は韓国でプロリーグがとて有名になった時期で、高校1年生のころには「プロゲーマーになりたい」と思うぐらいには頑張っていましたね。最初は「1日中ゲームばかりやって気でも狂ったのか」と父に怒られましたけど、やがて父も認め

てくれるようになり、マウスパッドが汚くなってきたりマウスが壊れたりしたら父が率先して買ってきてくれるようになったのを覚えています。

——素敵なお父さんですね。では、『LoL』との出会いはどんな感じだったんでしょうか。

僕、キャラクターの可愛いゲームが好きで、そういうゲームを探していたら『LoL』を見つけたんです。トリスターナとかコーキとかランプルとかヌメとか、本当に可愛くなって。ゲーム自体は最初つまらなかったんですけど続けているうちに楽しくなってきた、高校生の間にプラチナまで行ったんです。そのころ韓国で『LoL』のプロリーグができて、CJ EntusのBlazeやFrostといったチームがすごくカッコ良いなと思いました。それでプロゲーマーになろうと決心して、全南科学大学（以下CTU）のeスポーツ学科に入ったんです。



——CTUでは、どんな学生生活を過ごしましたか。

僕は最初ダイヤ4だったんですけど、周りみんなダイヤ1とかチャレンジャーとかで。当時のダイヤ1はすごかったんですよ。今と違ってすぐ上がチャレンジャーでしたから。

CTUは校内でチームをつくるんです。1軍が一番強くて次が2軍という形なんですけど、僕は最初4軍にも入れませんでした。それがすごく悔しくて、そのときから1日の睡眠時間を6時間と決めて練習しましたね。朝10時に起きてプロのプレイを観戦して、学校へ行って授業を受けて練習して、家に帰ってからは自分のリプレイやプロの大会を見るという生活を3か月間続けたんです。そうしたらチャレンジャーになることができて、1軍にも選ばれました。そのときから、自分の道はこれだと思いましたね。

中国での挫折、日本での再始動

——その後、中国でプロゲーマーデビューしたと記憶して

いますが。

アマチュア大会で良い成績を何度も取めることができたおかげで、教授から「中国でプロにならないか」と声をかけてもらったんです。僕はプロゲーマーになるのが夢だったので、正直韓国でプロになれるレベルではないと思っていましたので、中国行きを決めました。ただ、自分としては自信があったんですけど、完全に実力不足でしたね。韓国入選手にはチームを引っ張っていくことが求められているのに、

それどころか中国人選手に負けてしまっていましたから。それで1年でチームを辞めて、もう一度CTUに戻ったんです。そうしたら教授が今度は「日本へ行くのはどうか」と。韓国へ戻って再び自信を取り戻したころだったので、僕は「行きます」と伝えました。

——そうして日本のRampage（以下RPG）に加入したのが、2015年の夏。日本のプロリーグ「LJL」がまだ公式大会ではなかった時代でしたね。

最初は正直、上手くやれるという自信がありました。でも試合に出てみたら、思い通りにはいかなくて。だっていざ来てみたら、他のチームにはネームバリューのあるSSuN選手とかAlvingo選手とかがいたんですよ！僕はプロゲーマー経験があるとはいえ有名ではありませんでしたから、まず怖くなりましたよね。いっしょに来日したDara選手に至ってはプロゲーマー経験自体がなかったです。それで最初のころはプレイも上手いきませんでした。

——私も当時のことはよく覚えています。最初のころは大変そうでしたよね。

当時の日本にはゲーミングハウスというものが存在せず、僕らもゲストハウスに住んでいました。だけどそこはネット環境も良くなかったし、食事を作ってくれる人もいない。僕とDara選手とDragonコーチの韓国人3人暮らしで、日本人選手とはオンラインでつないで練習していました。それに僕は元々Dragonコーチとは友達だったので、

それに僕は元々Dragonコーチとは友達だったので、



Tussle

Unsold Stuff Gaming

日本の競技シーンを支え続ける
韓国人プロゲーマー

正直彼をコーチとして認めることも難しかったです。それでもRPGでは自分がすごく成長できたと思うし、世界大会にも何度も出て良い経験をたくさんさせてもらいました。あのころ出てきた問題点のひとつひとつが、今の自分の土台になっていると思います。

新天地……そこで背負った重荷とは？

——そして今の所属チームであるUSGに移籍したのが、2018年の春でした。

移籍当初は大変でした。確か最初はPascalコーチだったと思いますが、ゲームに対する見識が僕とまったく違ったんです。だから選手のフィードバックも僕がやったりして。そうこうしているうちにチームの問題ばかりが見えてきて、いつの間にか自分の問題点を見失っていました。だからUSGに移籍したばかりのころの動画を見ると、僕が変なところでキャッチされてデッドすることが多いんです。でも自分がミスするとチームプレイに繋がらなくなってしまうということに、シーズンのかかなり遅いタイミングで気づいて……。だけどそれを直そうとすると、今度はチー

ムがおかしなことになる。成績はそれほど悪くはなかったんですが、僕の考える実力レベルには至らなかったですね。

——外からはわからない問題が、色々あったんですね。今はどうですか。

今も変わらないのが、僕が「荷が重すぎるリーダー」であるということです。普通はリーダーと言っても選手のひとりとしてやっていけばいいと思うんですけど、USGの場合は僕がコーチの手伝いもしつつ選手のメンタルケアまでやらないと、みんなメンタルが弱くて未来が見えなくなるんです。スクリムで何度も負けたり試合で良くなかったりすると、沈んだ雰囲気になりがちなので。

——ももとはTussle選手もメンタルが弱かったイメージがあるのですが、違いますか。

僕も最初はそういう人間でした。ゲームに負けるとすぐ諦めようしたり、人のせいにしながらイラついたりしていましたね。でも今は違います。そういうことをひとつひとつ経験していくうちに、僕は成長することができたと思います。

「プライドは捨てました」、Tussle選手の大胆行動

——その成長のきっかけって何かあったりします？

ひとつエピソードがあって、去年、国際大会の「Rift Rivals」に出たときのことで。絶対に勝てると信じていたのですが、USGは全敗しました。でも僕はうちのチームの問題点を見つけることができず、チームメイトのapaMEN選手とも意見が合わずにケンカしたんですよ。このままでは「LJL」で3位以内に入れられないんじゃないかという危機感を抱いた僕は、うちのチームの問題点をどうしても知りたいと思い、ライバルチームであるDetonation FocusMe（以下DFM）のvivid選手のところへ行きました。そして「うちのチームの問題点を教えてほしい」とお願いしたんです。

——ライバルチームの選手に自らの弱点を聞くというのは、普通はなかなかできないことだと思います。選手としてのプライドもあるだろうし。

プライドは捨てましたね。それまで何度も優勝してきたのに、USGに入ってそれができなくなってしまったので。そしてvivid選手は、僕にこう言いました。「USGはお前がひとりですべてやろうと

するところが問題だ」と。「韓国人選手だけでなんとかしようとするんじゃないで、もう少し日本人選手ともコミュニケーションを取りつつプレイしなきゃダメだよ」と言われて、そのときに気づいたんですよ。自分本位でゲームしようとしてたんだなって。あのころのUSGの日本人選手は僕がオーダーを下げば動いてくれる人たちだったけど、僕が何も言わなければ何もできない人たちになってしまっていたんです。

——日本人選手たちも、自分たちができることは積極的に発言していこう、と。

あのとき言われてハッとしたんですよ。DFMがそういうチームなんだ、って気づいて。「Rift Rivals」のときは広い部屋を日本の3チームが共同で使っていて、隣のチームのボイスチャットも全部聞こえてきてしまうという決して良い練習環境ではなかったのですが、そのおかげで僕はDFMがチーム全員で発言していたのを確かに聞いていたんです。だから日本に戻ったらその点を集中的に直そうぞって言って、みんなであちこちやっ

張って練習しました。あのとき負けたのは、僕らにとってすごく良い経験になったと思います。

来シーズン、USGが目指すもの

——ようやく話が現在に戻ってきたところで、今シーズンの「LJL」を振り返ってみましょうか。レギュラーシーズンは3位※という結果になりましたが。

※2019年3月23日取材

新しく韓国人のDasher選手が入ってきて、最初は「2位はいけるだろう」という自信を持っていました。ところが、AXIZ戦で負

けてから状況が変わりましたね。正直、油断していたと思います。その後、問題点として選手たちが指摘したのがバンピックでした。それでコーチが「バンピックを完璧にしたいから、ひとりでやらせてくれ」と言ってきたんです。最初はそれも上手いんですけど、やっぱりバンピックをひとりの頭で考えるのは限界があって。最終的に、またみんなで話し合いながらバンピックを考えるやり方に戻しました。全体的に

Tussle

Unsold Stuff Gaming

日本の競技シーンを支え続ける
韓国人プロゲーマー



僕らのプレイが良くなかったのもあるんですが、バンピックで上手いかなかった試合も多かった気がします。でもとりあえずプレイオフに進出できたので、それは良かったなと思っています。

—では、普段から応援してくださっているファンの皆さんへ、何か伝えたいことはありますか。

これからもっと良い選手になれるよう頑張っていますので、皆さんが応援してくれる分、良い成績やパフォーマンスで恩返しがしたいです。試合が終わったあとにSNSで送ってくださる応援メッセージも力になりますし、会場でファンミーティングに来てくださる皆さんからも元気をもらっています。勝ったときは皆さんと直接喜びを分かち合えて幸せだし、負けてもよくやると励ましてくださったりUSGファンだから次も応援すると言ってもらえたりして、とても感謝しています。

—USGとしての来シーズンの目標を聞かせてください。

ずばり「ミスのないチーム」を目指したいですね。USGはミスが多いというイメージがついてしまったので（苦笑）。個人的にはそれを払拭したいです。それから、メンバー全員にメンタル面でもうちょっと成熟してもらいたいという気持ちもあります。特にDasher選手のメンタルが気になりますね。「韓国選手として日本のチームに合流したからには自分が上手くやらなければならない」というプレッシャーを常に感じているようなので、もう少し肩の力を抜いてプレイできるよう僕も支えていきたいなと思っています。

プロを目指すゲーマーへ、Tussle選手のメッセージ

—確かに、韓国選手にチームをけん引する役割が求められるパターンは『LoL』のプロシーンで多く見られます。日本のチームに所属する韓国選手として、Tussle選手が大切だと思うことは何ですか。

僕も最初はDasher選手と同じように、日本人選手より上手くやらなければならないという考えを2年間ぐらい持っていたと思います。だけど今は韓国人も日本人も関係ない、同じプロゲーマーなんだから下手でさえなければ良い、というマインド



を意識して持つようになりました。1人の選手だけが目立つチームはトップになれないって気づいたんですよ。だってそのチームと対戦するときは、その1人だけ狙えばいいんですから。誰もが目立つ可能性のあるチームのほうが強いんです。ちょうど今のDFMの韓国選手たちがそんな感じなんですけど、彼らはおそらく自然にそれをやっているんだと思うんです。そこまで意識できているのは、日本で自分だけだと自負しています。

—Tussle選手がプロゲーマーとして心がけていることって何かありますか。

僕らはただの「ゲーマー」ではなくその前に「プロ」がついているわけですから、プロとしてふさわしい言動が心が

け、自分のコンディション管理をきちんとしてることが大切だと考えています。プロならば全体的にそういうことが考えられる人、そういった約束事を守る人でなければならないと思います。ゲームが上手いという理由でオファーが来てプロになる人がほとんどだと思いますが、プロになったらそういったゲーム以外の部分も意識する必要があると感じています。

—では最後に、プロゲーマーを目指している人へのアドバイスをお願いします。

勉強にはいろいろなやり方があるじゃないですか。同じことを繰り返し叩きこむ人、間違ったところをチェックしてそれを直していく人。プロゲーマーも同じだと思うんです。ひたすらゲームだけをやってプロになれる人は、100人中1人いるかどうかですよ。いわゆる天才型ですね。そういう人以外はみんな、自分の問題点を探して改善していくというマインドを持つことが大事だと思います。たとえば自分ができないパターンをメモして、次はやらないように集

中する。そうすれば、絶対に実力は伸びます。それからプロの試合を見ながらなぜそういうプレイをするのか理解することや、プロのソロランクを見てフィジカルの動きを学ぶことなども良いと思います。チームに入るまでは先生がいませんから、自分だけの上達方法を見つけることを最優先に考えてみるのをオススメします！



Tussle Profile

日本のLoLプロチームUnsold Stuff Gaming所属の韓国系プレイヤー。2015年に来日し、国内プロリーグ[LJL]ではRampage所属として4連覇の偉業を達成。国際大会の出場経験も豊富で、[Rift Rivals 2017]の優勝メンバーのひとりでもある。2017年に日本人女性と結婚、1児の父。

Tussle

Unsold Stuff Gaming

日本の競技シーンを支え続ける
韓国系プロゲーマー



2018年11月にリニューアルオープンしたソフマップなんば店。西日本初のeスポーツのプロチームグッズを扱う「e Sports goods shop」の他、eスポーツを楽しむのに必要なゲーミングデバイスを設置するなど、関西のeスポーツファンにとって待ち望んだ店舗となっている。

Text, Photo / harulida

国内最大級のeスポーツグッズショップ

Sofmap GAMING ZONE なんば店

CAG COD 部門 ファンミーティング in NAMBA

大阪は難波のソフマップなんば店にて同じく大阪に拠点を持つ
プログラミングチームCYCLOPS athlete gaming
『コールオブデューティ』部門のファンミーティングが開催。
同店には日本最大級のeスポーツグッズショップも併設されており、
普段なかなか東京でのイベントに参加できない
関西圏のeスポーツファンにとっては貴重なイベントとなった。



ソフマップなんば店では昨年末に大規模な改修工事を
実施したばかりで、新しくなった店内では1階入っ
てすぐのエリアに「GAMING ZONE」を展開。「関西に
もeスポーツ関連グッズを扱うショップが欲しい」とい
う要望に応える形で誕生したこのスペースにはプログラ
ミングチームのグッズがズラリと並んでいる。最大の特徴は取
扱いチーム数の多さで、10を超えるチームのユニフォー

ムなどを販売して
おり、応援グッズ
購入にも最適だ。
『PUBG』な
ど人気タ
イトルのグッズ
も含めてeスポーツ関連グッズを扱うショップとして売り
場面積は国内最大級の「GAMING ZONE」。勿論グッズ
だけでなくゲーミングPCやチェア、ヘッドセットと言
ったプレイに必要なデバイスの品揃えも充実しており、プ
レイヤーもファンも楽しめるフロアとなっている。同店では
スタンディングで100人以上収容可能なイベントスペース
を利用して関連イベントも積極的に行っており、関西の
ファンにとって新たな交流の拠点となるだろう。

2月23日、ソフマップなんば店に CYCLOPS athlete gaming の『コールオブデューティ』部門の選手が
来場しファンとの交流を深めた。

イベントは2部構成で行われ、前半に行われたト
ークショーでは事前に募集した質問に選手が回答。
TimGUCHI 選手がうどんへの愛を語ったかと思えば、に
こちゃん選手が日本代表となるために
チームとして必要な点を分析するなど
個人的な内容から競技シーンに関して
まで幅広いジャンルに話題が及んだ。

後半では選手が来場者と混合チームを組み5on5や、
真剣勝負の1on1で対戦。プロ選手との対戦だけで
なく、選手から直接アドバイスを貰えるとあって参加者
にとっては貴重な機会に。試合の様子を全員が見守る中、い
ずれの対戦でも CAG 選手がプロ面目躍如のプレイ。特に
あべるんぜっと選手のスナイパーは他の CAG 選手も絶賛、
当日のハイライトと言えるシーンとなった。

最後はグッズが当たる
最じゃんけん大会やサ
イン会も実施され、選手も
「またやりたい」とコメン
トするなど盛況のうちにイ
ベントは終了。グッズを手にしたファンにはその場で選手
がサインを入れ、個別で記念撮影にも応
じるなど非常に選手とファンの距離が近
い印象だった。休憩を挟んで6時間以上
という長丁場でありながら終始笑い声の
絶えないイベントで、参加者全員の記憶に残っただろう。



eスポーツ関連の製品がすべて揃う ソフマップなんば店

ソフマップなんば店では、PC、マウス、キーボードなどのeスポ
ーツに必要なデバイスが試せる売り場やeスポーツプロチームのグ
ッズなど、充実した品揃えの店舗となっている。また、イベントス
ペースではeスポーツイベントの開催も可能だ。

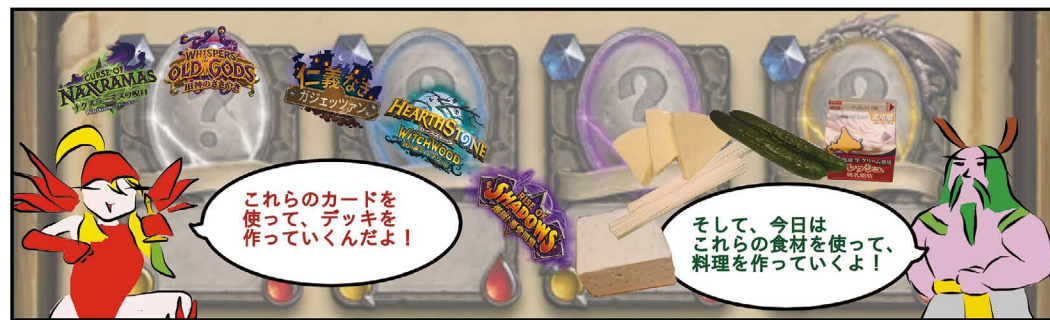
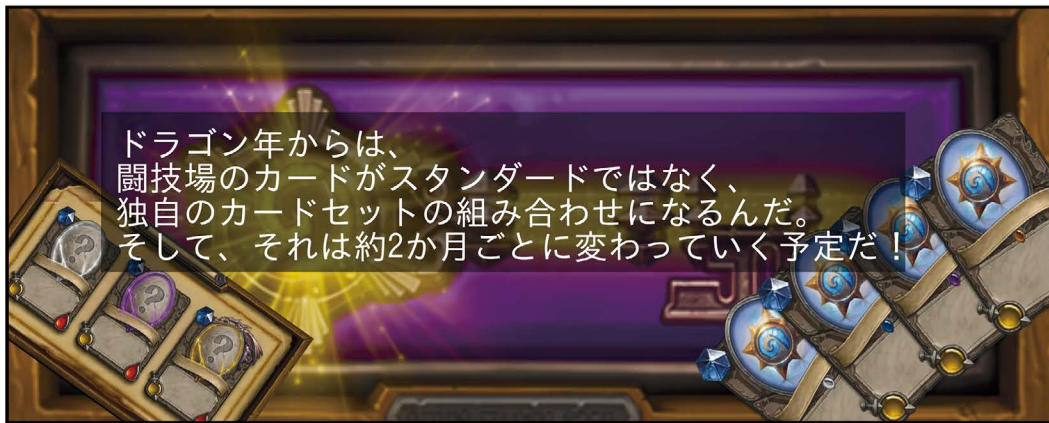


ソフマップなんば店
〒556-0005 大阪府大阪市
浪速区日本橋 3-6-18
営業時間 11:00 ~ 20:00
フリーコール 0077-78-9888
携帯・PHS・IP電話から(有料)
050-3032-9888
※電話番号のおかけ間違いにはご注
意ください

ソフマップドットコム
オンラインショップ「ソフマップドットコム」では
Sofmap e Sports goods shop で取り扱うグ
ッズを購入することができます。
<https://www.sofmap.com/>



ガアッサンのマルちゃん ハースストーン食事会 by Hoge! 8



ハースストーンとは?
about Hearthstone
スマホやPCで遊ぶことができる Blizzard Entertainment社のオンライン構築型カードゲーム。全世界で1億人が遊んでいる。

アーバンスポーツの祭典 FISE HIROSHIMA 2019にて開催!

FISE HIROSHIMA 2019 Exhibition

ESPORTS Battle

4月20日(土)・21日(日)

アプリ登録で
入場無料!

NTTクレドホール

(一部競技予選をFISE会場内で実施)

※競技種目変更になる場合があります。※詳細情報はFISE広島公式HPに掲載UP
いたします。※来場者多数の場合、入場できないことがあります。

参加料・観戦無料

国内外の有名
プロプレイヤーも参加!
他にも様々な
エントリー予定!



©Blizzard Entertainment / Red Bull Content Pool

©Blizzard Entertainment / Red Bull Content Pool

©Blizzard Entertainment / Red Bull Content Pool

©Blizzard Entertainment / Red Bull Content Pool

ウィニングイレブン
PES LEAGUE
2019

©Konami Digital Entertainment

4月20日(土) 予選・決勝



©CAPCOM U.S.A., INC.
2016, 2018
ALL RIGHTS RESERVED.

4月21日(日) 予選・決勝



©GungHo Online
Entertainment, Inc.
All Rights Reserved.

4月21日(日) 予選・決勝

参加プレイヤー受付中! エントリーはFISE広島HPから >>> FISE 検索

がんばろう広島 復興大会

FISE HIROSHIMA 2019

4月19日(金)~21日(日) 旧広島市民球場跡地 事前登録制
入場無料

競技種目(予定): BMXパーク/BMX フラット/スケートボードストリート/バルクール/ボルダリング/アグレッシブインライン/ブレイクダンス
【主催】一般社団法人 日本アーバンスポーツ支援協議会・一般社団法人 アーバンスポーツ大会組織委員会

スポーツクラブ



※詳しくはFISE HIROSHIMA
公式サイトをチェック!

www.fisehiroshima.jp

FISE

検索

アーバンスポーツファンクラブアプリ登録! URBAN PORTS

アプリ登録で入場無料!

